

日本製紙株式会社大竹工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本製紙株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番18号

(3) 業種

1421 洋紙製造業、1422 板紙製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

理 念

日本製紙大竹工場は環境負荷の低減に努め自然との調和を目指します。
環境マネジメントの透明性を高め、地域社会との信頼関係を堅持します。
将来にわたり環境保全と循環型社会の形成に努力します。

重点項目

1. 法令順守
2. 環境負荷の低減
3. 省エネルギー（化石燃料使用の極小化）
4. 資源の有効利用
5. 積極的な環境コミュニケーション

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
二酸化炭素	369,000	410,357	410,357

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成27年度
メタン			
一酸化二窒素		80,678	80,678
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量 (t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 27 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 32 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	410,357	338,300	1.213	3.6	395,473	338,300	1.169
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素	80,678	338,300	0.2385	1.6	79,387	338,300	0.2347
フロン類							
総排出量	491,035	338,300	1.451	3.2	475,322	338,300	1.405
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	336.3	4.9	-	-	319.8
目標設定の考え方	全項目とも削減率は、原単位ベースで年1%とした。 但し、基準年度である平成27年度は、年度途中の8月から他社への蒸気外販を開始したエネルギー増影響がない期間(4月～7月)も含むため、通年で蒸気供給を行ったとした原単位に換算し、そこから年1%の削減として算出した。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・総エネルギー原単位について前年度比1%改善	・廃熱の有効利用 ・新エネルギーボイラーの効率的運転 ・発電所の効率的運転 ・操業改善による省エネルギー
2	電気使用量の削減	・省エネルギー対策として前年度の総エネルギー（重油換算）の1%改善	・ポンプファンへの回転数見直し等による省エネルギー ・高効率設備導入による省エネルギー ・高効率照明設備導入による省エネルギー
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

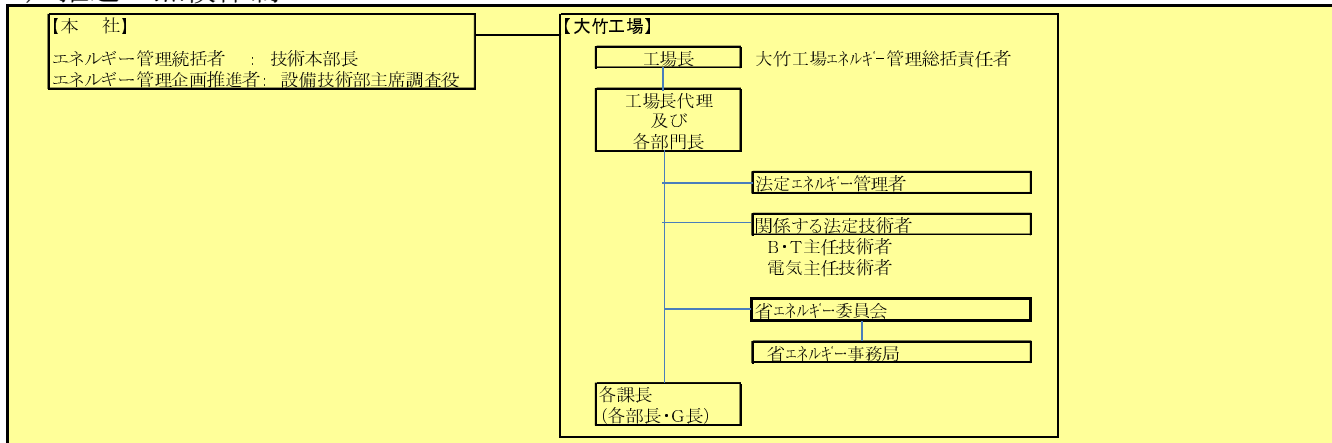
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	資源の循環利用	廃棄物の再資源化率98%以上	・産廃有効利用促進（セメント原料化、焼却・熔融処理） ・廃プラ類の分別管理徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネルギー事務局が毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、定期的な評価・見直し等を行って継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等を計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・ 事業所に備え付けて閲覧する。
- ・ 当社のホームページ上で公開する。